

■各階共通事項

○建築

・EVシャフト部分とEPS、PS、盤室は令126の2第1項3号により排煙設備なしとする。

・PS、MBは全て水平区画（防火区画）とする。

・専用部はSLが仕上げ面となり、共用部のみFLが仕上げ面とする。

・階段・敷地内の表面は粗面、又は滑りにくい仕上げとする。

■特記事項

・設計GL＝KBM±0、平均地盤面＝GL+640

[+100]：計画レベル示す（GL+100）

Ⓐ100：現状レベル示す（GL+100）

■消防法無窓階判定

・全階無窓階とする。

■建築物バリアフリー条例

・視覚障害者対応として点字案内板を設け、案内板に至る経路に点状ブロックを設置する。

■6～8F：令121条第1項3号に該当する用途に使用しない。

■エントランス（ピロティ）（1F）は屋内的用途に使用しない。

■排煙検討	
	排煙区画
	平12建告1436号第4号へ(1)
	自然排煙
	令126条の2
凡例	
	ALC t=125
	アスロック t=60
	延焼の恐れのある部分
	竪穴区画、屋外階段からの2m
	排煙区画
防	防火設備 ※H12建告第1360号 法第2条第九号の二ロ(常時閉鎖式)
防2	防火設備 ※H12建告第1360号 令112条19項二号(常時閉鎖式、遮煙性能)
特	特定防火設備 ※H12建告第1369号 令112条19項一号(常時閉鎖式)
特2	特定防火設備 ※H12建告第1369号 令112条19項二号(常時閉鎖式、遮煙性能)
網	防火設備 ※H12建告第1360号 法第2条第九号の二ロ(網入ガラスt6.8)
耐	防火設備 ※H12建告第1360号 法第2条第九号の二ロ(耐熱強化ガラスt5)
破	自火報運動又は破壊小窓付き戸とし、避難に影響のない構造とする。 避難に使用する出口の施設装置を令125条の2に適合する錠とする。
代	代替進入口(有効750×1200又はφ1000円が内接)(レバーハンドル錠外付) 法第35条 外部から開放可能な外開き戸とする。
	避難ハッチ 600×520 (消防認定品)
梯	避難はしご (消防認定品)
消	消火器 (歩行距離20m以内に設置)
消	大型消火器(歩行距離20m以内に設置)

■屋外避難階段（1F～GL+1750）

・有効幅：850mm(≧750mm)

・蹴上：213mm(≦220mm)

・踏面：220mm(≧210mm)

・補助手摺：H850mm（段鼻から手摺天端）

■屋外避難階段（GL+1750～8F）

・有効幅：780mm(≧750mm)

・蹴上：206mm(≦220mm)

・踏面：220mm(≧210mm)

・補助手摺：H850mm（段鼻から手摺天端）

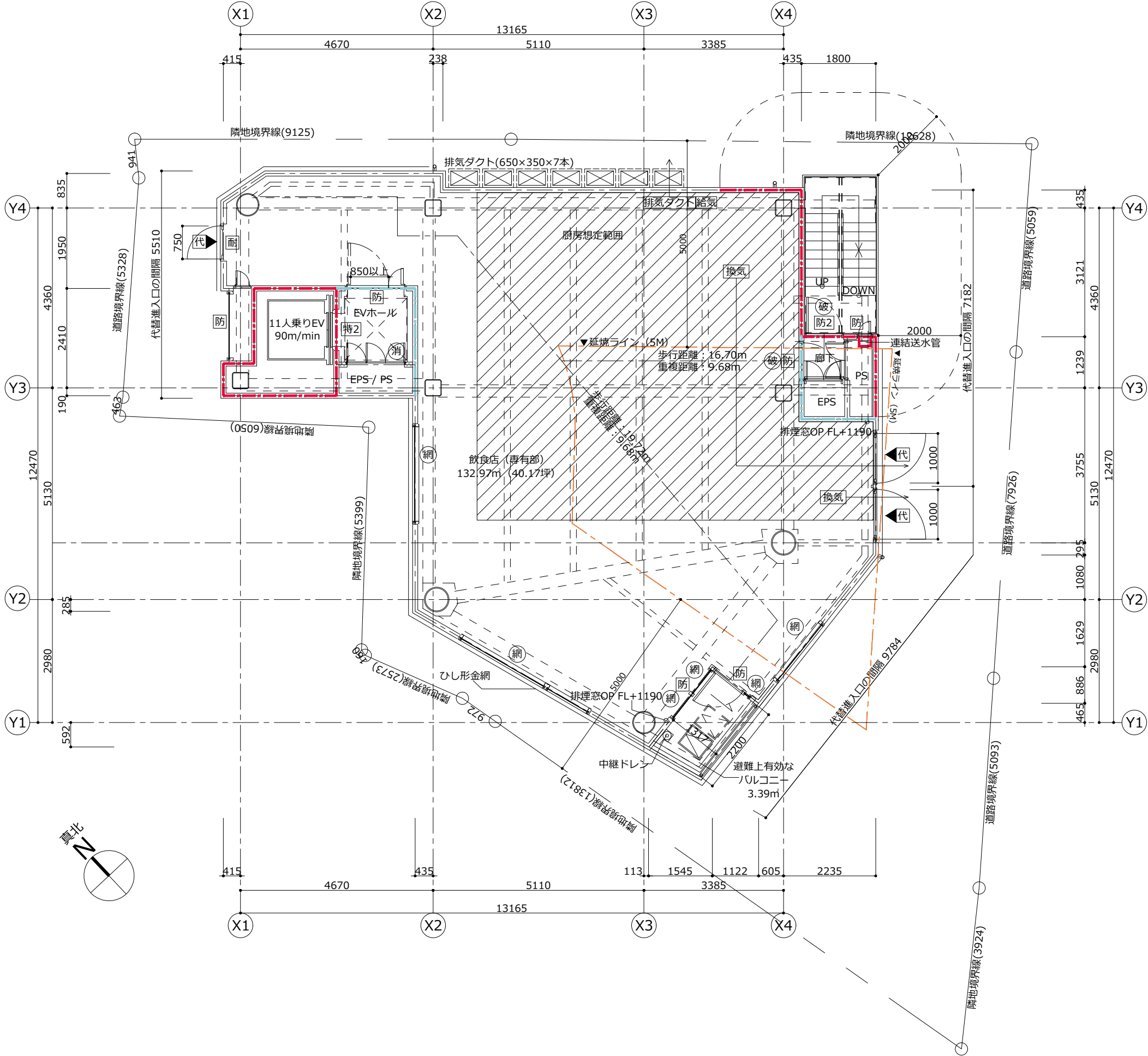
■収容人員算定

・1F:66.26㎡（厨房想定範囲を除く部分）/3＝22+10（従業員数）＝32人

・2F:53.89㎡（厨房想定範囲を除く部分）/3＝18+10（従業員数）＝28人

・3F～8F:66.75㎡（厨房想定範囲を除く部分）/3＝22+10（従業員数）＝32人

・合計：252人



7階平面図